

平成31年度の主要事業

安全・安心・快適なまちづくり

●福祉医療費助成事業

(2億590万円)

小学校1年生から高校生世代までの子どもに対する医療費を助成し、子育て世代の負担軽減を図ります。

●子育て世代包括支援センター事業

(233万円)

保健センターと子育て支援センターに「子育て世代包括支援センター」を設置し、保健師等が相談支援等を実施することで、妊娠期から子育て期にわたるまでのさまざまな悩み等に円滑に対応し、切れ目のないきめ細やかな支援を行います。



●はいはいベビー券交付事業(364万円)

1歳未満の子どもを育てる世代に対し、町内の指定取扱店でおむつ等を購入できる「はいはいベビー券」を交付し、出生と子育てを支援します。

はいはいベビー券を交付し、出生と子育てを支援します。

●運転免許証自主返納支援事業

(20万円)

運転に不安を持つ高齢者等の運転免許証の自主返納を奨励し、返納者に対して交通手段を支援することで、交通事故の防止・減少を図ります。

●認知症対策事業

(796万6千円)

急速に増加すると見込まれている認知症に対し、正しい知識の普及、予防、早期発見と重症化予防に取り組むことで、認知症になっても安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進します。



●ばらタクサービス事業

(2,800万円)

自らの交通手段を利用して、外出することが困難な在宅高齢者等に対し、通院、買い物などの外出支援のため、タクシーを利用したドア・ツー・ドアによる送迎サービスを継続して実施します。



●庁舎発電機設置事業

(7,224万円)

災害、事故による停電が発生した際に、通常業務、災害対策本部業務に必要な電源を確保するため、本庁舎に非常用の発電装置を整備し、防災機能の強化を図ります。

●公共交通機関対策事業

(1億1,214万4千円)

養老鉄道養老線と、名阪近鉄バス大垣大野線に対して、近隣市町と協調し継続運営のための財政支援を行います。

郷土愛と創造性を育むこころ豊かなひとづくり

●学校ICT教育環境整備事業

(5,216万3千円)

ICTの活用により教育の質を高めるため、前年度に引き続き、小・中学校にタブレット端末及びWiFi環境を整備します。また、小・中学校を巡回するICT支援員を配置し、授業等でのより効果的な機器活用を図ります。さらに、教育委員会サーバー、教職員の校務用PCを更新すると同時に、岐阜県が選定した「統合型校務支援システム」を導入し、教職員の業務改善に取り組み、「働き方改革」を推進します。



●小学校トイレ改修事業(30年度繰越事業)

(6,460万円)

南平野小学校と北小学校の校舎内の便器の洋式化を計画的に実施することで、より快適な衛生環境づくりを推進します。

●小学校外国語活動支援アシスタント設置事業

(60万円)

小学校における英語の授業が増加したのに合わせ

て、英語を得意とするアシスタントを設置し、授業を円滑に進められるようにします。

●適応支援専門員設置事業

(231万円)

不登校、問題行動等の課題を抱える児童生徒が、学校生活に適応できるように支援する専門員を配置します。

●文化遺産活用推進事業

(1,000万円)

県重要無形民俗文化財に指定されている神戸山王まつりの内容や技術を資料として残し、後世に正しく継承していくため、総合的な調査を行い、解説映像、解説冊子を作成します。

さらに、講演会やワークショップを開催し、参加者の増加を図ります。



●ふるさとと百話第5集発刊事業

(562万9千円)

昭和52年に美濃神戸ふるさとと百話創刊号が発刊され、現在第4集まで発刊されており、広報ごうどに掲載された「郷土の民話」のうち、未発刊の作品を第5集として発刊します。

活力と交流の創出

●神チャレンジプロジェクト推進事業

(400万円)

“住んでよかった”と思えるまちづくりを目指し、官民協働でまちづくりの課題解決に向けた事業を計画・実行します。

プロジェクト参加新規メンバー募集。
詳しくは、P9をご覧ください。

●ごうど観光交流館「ひよしの里」運営事業

(362万9千円)

ごうど観光交流館「ひよしの里」を民間の活力を活用して、運営します。来訪者への情報提供や観光ボランティアガイドの受付、レンタサイクルの貸出し等を行います。

●広神戸駅舎活用事業

(58万円)

神戸町観光ボランティアガイドの会の事務所として広神戸駅舎を使用し、鉄道を利用する観光客を含め、神戸町の魅力と情報を発信します。

